

食育の芽



すみだの食育の合言葉は、「手間かけて “食で育む” 人とまち」です。あなたと一緒に「食育の芽」を育ててみませんか？

6月の食育イベントに向けて 準備開始！



▲各班のリーダーとサブリーダーがあいさつ

話し合いの前に参加者全員が自己紹介を行った ▶



▲各班に分かれて行われた打ち合わせ

食育イベント あなたも参加しませんか？

食育イベント「手間かけて すみだ食育 てんこもり2016」は「夢をカタチに！ 食で育む 人とまち」をサブタイトルとして、区民、地域団体、NPO、事業者・企業、医療機関、大学などの協働で行われます。すみだが目指す食育「みんなが健康でたのしい食環境を通じて豊かな人生をおくる」を達成するために、さまざまなプログラムを行います。



日時：6月16日(木)～19日(日) 10時～16時
会場：墨田区役所(1階アトリウム)
すみだリバーサイドホール
すみだ女性センター
すみだ中小企業センター など

写真上と右：昨年の食育月間に墨田区内で行われた「第10回 食育推進全国大会」のようす



「食育人に会いに行こう」開催!



区内で食にまつわる取組をされている方(食育人)の現場をたずねる「食育人に会いに行こう!」が、3月18日に開催されました。今回の食育人は、「そばの里 みつまさ」の河西紀道さんと魚八栄五郎の佐々木直子さんです



ゆでたての手打ちそば

佐々木さんの店で作っただし巻き卵と天ぷら

しょくいくびと

食育人の話

食事をいただきながら、おふたりの話を聞きました

魚八栄五郎(さかなやえいごろう) 佐々木 直子さん

東向島駅の近くの路地裏で弁当屋をしています。お客様に喜んでいただくことが全てなので、手作りで手間を惜しまず作っています。おかげさまで口コミで少しずつお客様が増えて、つながりの大切さを感じています。その方々を裏切れないんですよ。

うちは1男6女の大家族ですが、仕事をしながら子



育ててきたのは、近所の方の協力があったからです。主人も私もよそ者なんです。それにも関わらず、地域の方はずっと受け入れてくださった。いい意味でのおせっかいを、今度は次の世代につないでいきたいですね。

そばの里 みつまさ 河西 紀道さん

うちは大正14年創業のそば屋です。平成4年に手打ちに切り換えてから、勉強のために外食時は必ずそば屋。これまで1700店以上で食べました。

18年以上、店で落語の会をやっているんです。出演してくれた落語家が、昇進した後、すぐに挨拶に来てくれるときが一番嬉しいですね。

食育活動は、最初の頃、何がなんだかわかりませんでした。今はしっかり食べて健康になることが食育だと思っています。黙々とそば屋を続けてきたことが、もしかすると食育につながっているのかもしれないね。



すみだ街かど食堂 トライアルで実施



子どもから大人まで、幅広い年齢層の人が集まり一緒に食事する場をつくることで、様々な課題を解決できないか？ そんな思いからスタートした「すみだ街かど食堂」。今後の進め方を探るトライアルが4月16日に行われました。

みんなで作って、みんなで食べる！

トライアルの会場はgoodネットメンバーの松浦伸也さんが住むシェアハウス「えんがわ」です。意見を聞かせていただくために、松浦さんの友人で近所に住むご夫婦と娘さんに体験参加してもらいました。

この日のメニューはカレーで、食事を作るところから一緒に行いました。目的は、つながりを

深めるためです。みんなで楽しく食事をした後、これから活動を進めていく上での課題について話し合いました。



発案者 荒川春子さんの想い

子どもたちや、若者、高齢の方などに参加していただき、幅広い年代の方々が一緒にごはんを食べられるゆるやかな場にしたいと思います。今日のトライアルで見えた課題を解決しながら、いろいろな場所で実施していきたいですね。その結果、最近注目されている「子ども食堂」の役割も果たせるといいなと考えています。



食事の準備のようす

一緒に食べるだけでなく、カレー作りも一緒に行いました



つながりから新たな芽が誕生！

板垣美加子さんが経営する「和のごはん みかづき」の「びかつ(美活)弁当」が、すみだモダンを受賞しました。この弁当の栄養面のアドバイスをしたのが、管理栄養士の木口圭子さんです。2人はgoodネットに加入したことが縁で、親交を深めてきました。木口さんは「びか

つ弁当」が栄養バランスに優れているだけでなく、板垣さんの「食材を無駄にせず命を全ていただく」という姿勢に感銘を受け、すみだモダン応募時に必要な推薦文を書いたそうです。goodネットのつながりから、新たな食育の芽がまたひとつ誕生しました。



「さすが栄養のプロと感じさせられる木口さんの言葉で、びかつ弁当を表現していただき感謝です」と板垣さん(左)。写真は、木口さんと授賞式の後撮影

『思い込み弁当』に掲載！



中川さん(写真左)が手にしているのが『思い込み弁当』(セブン&アイ出版)

栄養学生団体Nが企画した『思い込み弁当』に、goodネットの中川美久さんが作った弁当が掲載されました。弁当は、個人的にお世話になってきたgoodネットの白川幸子さんに、感謝の気持ちを込めて作りました。弁当の内容は、「1から始める夢プロジェクト」のメンバーと相談。すみちゃんカレーをヒ



ントに「カレー粉入りの筑前煮」などを作りました。白川さんから「ひと手間でこんなに味が変わるのね」と感想をもらいました。さらに本に掲載される写真撮影では、goodネットの写真班の岡田さんたちの協力を得ました。中川さんにとっては、これまで以上に、すみだが好きになる機会になったようです。



すみだ農園 今年もトマト苗配布



▲メンバーのサポートで苗を植えた

平成24年に開始したすみだ農園。今年も墨田児童会館でカゴメ(株)提供のトマトの苗が配布されました。子どもたちは自分の鉢に絵を描き、goodネットのメンバーのサポートを受けて苗を植えます。植えつけ後は、自宅に持ち帰り育てます。また児童館の前の畑でもトマトを育て、秋には収穫祭が行われる予定です。

子どもたちは鉢に好きな絵を描いた



good ネット 会則と組織改定

4月1日にgoodネットの会則と組織が改定されました。目的は、より多くの人が、すみだの食育に関わる体制をつくることです。

会則改定によって運営会員と賛助会員を「正会員」に統合。正会員は議決権をもつため、goodネットの運営に関わる人の数が増えます。組織変更では副理事長を2名に増やし、さらに「1から始める夢プロジェクト」の協力を得ながら事業を進めていく体制が確立されました。